



## 製品外観

- (A) カメラレンズ (B) 液晶画面  
(C) 状態表示 (D) 液晶画面の ON / OFF  
(E) モード／撮影ボタン  
(F) microSD カードスロット (G) USB ポート

## 注意

- \* 本製品は小型防犯カメラです。時計としての外観・機能はあくまでもイミテーションになります。初期不良のケースを除き、時間のズレや使用によるベルトの切れ・劣化等については修理や保証の対象外となります。予めご了承ください。非防水です。水に濡れない環境でご使用ください。
- \* 被写体より50cmほど離して撮影してください。近すぎるとピントが合わないことがあります。
- \* パソコンに接続してもデータを読み込まなかったり、本体を認識しない場合は、本体の電源をONにすることで認識することがあります。
- \* 本製品はメーカー側の都合により、一部デザインや製品仕様および機能、付属品の内容やランプの点灯色が異なったり等、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

## 本製品の使い方

## ■充電方法

1. 付属のUSBケーブルを本体のUSBポート(G)に繋ぎ、本体とパソコンを接続。

※2時間を目安に充電を行ってください。過充電を避けるため、充電後は本体を取り外してください。

## ■電源を入れる前に

十分に容量が空いたmicro SDカード(別売)を本体のmicro SDカードスロット(F)に挿入。

※破損を防ぐため、micro SDカードの抜き差しは丁寧にしてください。

※本体電源が入った状態でmicro SDカードを抜き差ししないでください。カードが壊れたり、中のデータが壊れる場合があります。(カード自体やデータの復旧・保証はいたしかねます。)

## ■リセット

(B)と(C)を同時に押す。(リセット完了)

※正常に動作しない際に行ってください。

## ■充電しながらの録画

本体をモバイルバッテリー等の外部電源に繋ぐことで充電中の操作が可能になります。

## ■電源ON/電源OFF/録画

1. (E)を約3秒ほど長押し。

2. (B)が表示され、(C)に  マークが表示される。

(電源ON & 動画撮影開始)

10分ごとのファイルが作成されます。



容量がいっぱいになると自動上書き保存されます。

※操作が数秒ない場合、(B)の表示が消えますが、撮影待機状態は継続します。(D)を1回押すと (B)が表示されます。

3. 撮影中に(E)を約3秒ほど長押し。

4. (C)が  マークが表示され、消灯。(電源OFF)

## ■音声録音

- 1.録画機中に(D)を2回押し。
- 2.(B)に  マークが表示される。(音声録音開始)
- 3.撮影中に(D)を長押し。
- 4.(B)の  マークが消える。

(音声録音停止 & 撮影待機状態)

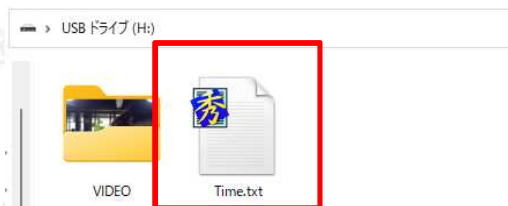
※5分ごとのファイルが作成されます。  
※録音開始から約30秒後、(B)の表示が消えますが、録音状態は継続します。短く(D)を1回 押すと(B)が表示されます。

## ■撮影ファイルの確認方法

- 1.付属のUSBケーブルを(G)に繋ぎ、パソコンと接続。
  - 2.パソコンがリムーバブルディスクを自動で認識。
  - 3.リムーバブルディスク内に保存されたファイルをパソコンに移行。
  - 4.パソコンに保存したファイルを確認。
- ※録画したファイルはできるだけパソコンへ移行したうえで閲覧してください。移行しない状態で再生した場合に起こる、ブロックノイズの発生や再生不可を改善できる場合があります。
- ※パソコンに認識しない場合は、micro SDカードを直接パソコンに接続、またはカードリーダー等で読み込んでください。

## ■タイムスタンプ設定

- 1.micro SDカード挿入後、本体とパソコンを接続。リムーバブルディスク内に「time」が自動生成されているのを確認。  
※自動生成されていない際は「time」テキストファイルを作成してください。



- 2.ファイル内に  
2020-01-01 23:59:59 Y または、  
2020-01-01 23:59:59 N の書式で記述されている為、希望の日時に書き換えて上書き。  
※「Y→タイムスタンプ表示」「N→タイムスタンプ非表示」をそれぞれ意味します。  
※上記と同じ形式で手入力しても反映されます。
- 3.上書き変更したら、保存してカメラ本体をパソコンから取り出し、撮影を行うと変更が反映されて完了。  
※設定変更前の撮影済みデータは変更されません。

※タイムスタンプと液晶画面(B)の時刻は連動します。

# M E M O